

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

名古屋市立矢田中学校

## 【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながる1人1台端末の活用

1年 総合的な学習の時間「よりよい街づくり～防犯・福祉・交通・町づくりの視点から～」をテーマに掲げたプロジェクト型の探究学習

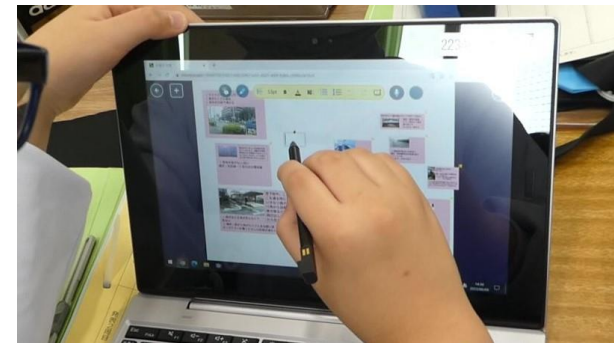
テーマの中からプロジェクトを立ち上げるために、1人1台端末のデジタルホワイトボードソフトを使って、学級で集めた情報（テーマごとの課題）を学年で共有し、グルーピングやラベリングをしながら課題を広げました。



学級で集めた情報をグループで発表



発表をもとにグルーピング



学級に戻って伝える内容をまとめる

## 【活動の様子と成果】

学区内の誇れる場所や課題のある場所を現地調査を行い集めた情報を学年で共有し、学級の枠を超えて、同じテーマの仲間に身振りや手振りを交えて発表しました。発表を基に、情報を見直して、グルーピングやラベリングしながらプロジェクトを立ち上げるための課題を広げました。主体的・対話的に学ぶことができました。

活動の記録URL：<https://nagoyaschoolinnovation.city.nagoya.jp/school/pbl/news/detail7>